

STAP 細胞事件を初めとする研究不正の続発は、日本の科学研究の信頼性に深刻な問題を投げかけている。昨年 8 月文部科学大臣決定による不正対応ガイドラインが策定され、大学等の管理責任を強化し、研究倫理教育を推進することなどが義務付けられた。本ワークショップは、すべての研究者を対象に執筆された研究倫理教科書『科学の健全な発展のために—誠実な科学者の心得』（日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会編、丸善出版、2015 年 4 月予定）の著者たちを講師に招き、新ガイドラインに沿って責任ある研究を進めるための諸課題を学ぶ。さらに、研究倫理に関する基本原理を理解した上で、共同研究のガイドラインやデータ保存・管理・開示のルール作成など、各大学でこれから取り組む課題について、各大学で研究倫理体制構築を担う教職員とともに論議し、今後の方向を明確にすることを目的としている。

研究倫理ワークショップ

科学の健全な発展のための 責任体制の構築へ向けて

2015年4月27日(月) 13:00~17:30

東北大学百周年記念会館 川内萩ホール会議室
定員：60名

【受講対象】各大学で研究倫理推進や研究倫理教育を進める立場にある方に限定させていただきます、1機関1名の参加とします。
なお、グループによるワークショップを行うため、お申込み後にご欠席なされる場合は、必ず事前にご連絡くださるようお願いいたします。

◇プログラム◇

- | | | |
|-------------|--------------|--|
| 13:00~13:15 | 開会挨拶 | 広瀬 登 (文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課研究公正推進室長) |
| | | 伊藤 貞嘉 (東北大学理事・研究担当, 東北大学公正な研究活動推進委員会委員長) |
| 13:15~13:55 | 講演 1 | 「研究不正防止の動向と新ガイドライン」
中村 征樹 (大阪大学全学教育推進機構 准教授) |
| 13:55~14:35 | 講演 2 | 「外国の失敗から学ぶ研究倫理構築の課題」
市川 家國 (信州大学医学部 特任教授) |
| 14:35~15:15 | 講演 3 | 「RCR 教育の目的と方法」
札幌 順 (金沢工業大学基礎教育部 教授) |
| 15:15~15:30 | 休憩 | |
| 15:30~16:10 | 講演 4 | 「論文不正をめぐる具体的なケースから」
山崎 茂明 (愛知淑徳大学人間情報学部 教授) |
| 16:10~16:40 | グループディスカッション | |
| 16:40~17:10 | 総括討論 | |
| 17:10~17:30 | まとめ | 羽田 貴史 (東北大学総長特別補佐・研究倫理担当, 東北大学高度教養教育・学生支援機構副機構長//教授) |

参加申込み方法
REGISTRATION

東北大学高度教養教育・学生支援機構 HP 「イベント申込み」より Web にてお申込みください。
※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先(e-mail)を明記の上、iehe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp までお申込みください。

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/>

お問い合わせ先
CONTACT

東北大学高度教養教育・学生支援機構 (IEHE) / 大学教育支援センター (CPD)
TEL. 022-795-4471 E-mail. iehe-seminar@g-mail.tohoku-university.jp

主催
SPONSOR

東北大学公正な研究活動推進委員会
東北大学高度教養教育・学生支援機構

後援

文部科学省